

# 第七中学校区における市立こども園設置に関する説明会 会議録

(平成 29 年 9 月 24 日 開催分)

## 【1. 開催日時・場所】

平成 29 年 9 月 24 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 35 分 香澄小学校

## 【2. 出席者】

- 地区住民 47 名
- 習志野市 (竹田こども部長、小澤こども部次長、小野寺こども政策課、松岡同課施設係長、増谷同課主査)

## 【3. 内容】

- 第七中学校区のこども園設置について

## 【4. 配布資料】

- [別紙] 第七中学校区における市立こども園の設置について  
(平成 29 年 9 月 保護者・地域住民説明資料)

## 【5. 意見交換会概要】

### 1. 開会

<竹田こども部長 挨拶>

秋津・香澄幼稚園の園児数が近年急激に減少してきた現状を受け、何かしら対応しなければいけないということで地域の皆様には 6、7 月に秋津、香澄それぞれのまちづくり会議通じ、保護者の皆様には 5 月以降続けて説明会を開催してまいりました。

香澄幼稚園の現状の数を申し上げますと、年少が 5 名、年長が 8 名であります。

秋津、香澄幼稚園を1つに再編し、香澄幼稚園園舎を使用し 3 歳からのこども園を整備したいと考えています。

### 2. 第七中学校区のこども園設置についての説明

<小野寺こども政策課長>

※ 別紙資料に基づき、市として決定した最終的な方針について説明。

※ 秋津・香澄幼稚園の入園者数が減少傾向にあり、集団教育の観点から幼児教育において様々な課題があること、この環境について早急に対応する必要があると判断し、第七中学校区にこども園を整備し、教育環境を整えていくことを説明。

※ このたびの市立こども園の整備は、小学校の統廃合とは一切関係がないことを、改めて、説明。

### 3. 質疑応答

#### <地域住民>

この問題は、秋津地域で混乱に陥って、かなり不安の声が上がっています。

谷津4丁目から秋津幼稚園に通園していますが、香澄になったら通えなくなるので、秋津幼稚園を残してほしいです。

地域バランスで香澄に決定するのではなく、個々の幼稚園の教育内容を評価し判断すべきです。平成31年の閉園は納得できません。

環境の変化で園児や保護者にも精神的な負担がかかるなど、他にもいろいろな意見が出ており、秋津地区から、こども園整備計画を留保することについて約3,000人の署名が集まり、市議会に請願として提出されています。

こうしたなかで、最終方針についての説明会が開催されるのは納得いきません。

行政として約3,000人の署名をどのように受け止めているのでしょうか。なぜ、約3,000人の署名があるのに、急いでこども園の整備を進めるのでしょうか。

#### <市>

今の園児数の状況を見たときに、1年、2年先まで計画を遅らせることはできないと判断させていただきました。子どもたちにとっての1年は非常に大きな1年です。

最初に地域や保護者の皆様に説明したときに、幼稚園の廃止につきましては、小学校の統廃合につながるのではといった懸念の声がありました。このことについては、小学校の統廃合につながるものではないと説明してまいりました。

全ての方に御納得いただくことは難しいことではありますが、現在の教育環境をお伝えし、御理解いただきたいと考えています。

保護者の皆様につきましても、全ての方に納得を得られたとは思っておりませんが、ほぼほぼ御理解は得られたのではないかと考えております。

#### <地域住民>

市は、こども園整備計画を留保し、地域に丁寧に説明することは考えてないのでしょうか。

#### <市>

繰り返しになりますが、香澄幼稚園の園児数の状況を踏まえ、教育環境を整えていくべきであると判断したものであります。この環境は来年もすぐに改善されるものではありません。香澄と秋津の両地域の乳幼児の人口も大きく数が増えることもありません。

この乳幼児数の現状のなかで、保育所を選択する方も多くいらっしゃいます。

幼稚園につきましても、あえて、私立幼稚園を選択する方もいらっしゃるなかで、市立幼稚園の教育をしっかりとした環境に整えるため、秋津幼稚園と香澄幼稚園を再編し、こども園の枠組みで教育を実施してまいりたいと考えています。

<地域住民>

谷津地域では、人口が増えパンク状態になっています。市全体のバランスの取れた行政をやっているようには思えません。

<地域住民>

なぜ、市の端にある香澄に、こども園を整備するのでしょうか。

香澄に預けてから仕事に行くのは、保護者にとってかなりの負担となります。絶対に中央に設置するべきです。

新聞報道によると秋津地域での説明会を拒否しているとのことですが、なぜ拒否するのでしょうか。

<市>

本市の市立幼稚園の再編の考え方は、七つの中学校区にひとつのこども園に再編することとしております。

従いまして、秋津幼稚園と香澄幼稚園の両園が運営しないこととなった場合、香澄地域においては、幼児の教育施設が近隣になくなってしまうこととなります。

それと、こども園には、子育て支援の拠点としての機能もございます。

これらを踏まえ、秋津地域には近隣に袖ヶ浦こども園がございますので、公共施設の配置バランスを考え判断させていただきました。

<地域住民>

秋津地域の方が袖ヶ浦こども園に通った場合、香澄地域だけのためのこども園の整備となりませんか。香澄幼稚園の園児数が減っているなかで、そのような整備をするのはおかしくないですか。

将来的に人口が減っていく状況で、狭い地域に2つも3つもこども園はいるのでしょうか。将来的に小学校の統廃合の話も出てくるのではないのでしょうか。

先を見据えて計画を進めてほしいです。

<市>

習志野市公共施設再生計画のなかで、第七中学校を活用した小学校の再編についても触れられています。

小学校を再編するにあたっては、適正規模、適正配置、あるいは小中一貫校という考え方もありますが、本市では、小中一貫校の考え方を作り上げてきた経過もございませんので、どのような小学校を築き上げていくのかについては、これから地域の方々としっかりと協議を進めていく中で対応するべきだと思っております。

これまでの秋津幼稚園の説明会の中では、新たに整備するこども園についてどのように運営するのか、秋津幼稚園の先生がどうなるのかなど、先を見据えた御質問もございました。

市としても、香澄地域だけのこども園として考えているものではありません。

#### <地域住民>

利用しやすいように、秋津地区にこども園を作るべきじゃないでしょうか。

住民との話し合いも阻止していますが、どうしてでしょうか。

#### <市>

保育所を含めて回答させていただきます。

秋津保育所とかすみ保育園は、これまでどおり保育を必要とする方のために運営いたします。

定員割れをしている市立幼稚園をどう再編していくかについては、平成 12 年から取り組んでいます。

袖ヶ浦こども園の設置にあたっては、旧袖ヶ浦西幼稚園の園庭が狭かったこと、旧袖ヶ浦東幼稚園が併設園で施設を拡大することが難しかったこと、旧袖ヶ浦保育所の近隣に大きな公園があったことから袖ヶ浦保育所の場所にこども園を整備しました。

この際、袖ヶ浦 6、7 丁目にお住いの方々から、袖ヶ浦こども園まで登降園するとなると遠くなるため、香澄幼稚園を選択したいとの要望があり、園区内であったこともあり、御案内した経緯がございます。

そのため、市としては、袖ヶ浦 6、7 丁目にお住いの子どもたちの登降園を考慮し、こども園を整備する際は、全市的なバランスを踏まえ、今回、香澄地区にこども園を整備することを判断いたしました。

確かに、谷津地区、秋津 5 丁目の方々も香澄地区まで通園するのは遠くなりますが、香澄地区のこども園を利用できないというわけではありません。状況に応じて、自家用車やバスなどを御活用いただければと思います。

また、現在の幼稚園区は 3 つの園区に分かれておりますが、今後、園区の撤廃についての検討についても、取り組んでいきたいと考えております。

#### <地域住民>

こども園は、園区に関係なく入園できるのでしょうか。

その場合、香澄地区にこども園を開設し、当初予定した人数以上の応募があった場合、どのくらいまで受け入れができるのでしょうか。

また、こども園の月々の費用はどれくらいになるのでしょうか。

<市>

各年齢の定員は、幼稚園枠が各 20 名、保育所枠が各 10 名となっており、総定員 30 名のなかで受け入れることとなります。

保育所枠で 10 名に満たなかった場合は幼稚園枠を増やすこととなり、逆に、幼稚園枠が定員に満たなかった場合は保育所枠を増やすこととなります。

総定員数を超えた場合は、他の施設と同様に抽選となります。

また、保育料については、現在の保育料と変わりません。

<地域住民>

秋津幼稚園の跡地はどうか。売却は考えていますか。

<市>

今後については、まだ何も決まっておりませんが、秋津幼稚園の保護者の皆様からも、現在の環境を残してほしいという御意見もございますので、今後、地域の皆様や保護者の皆様と園舎や園庭の跡利用について考えていきたいと思っております。

売却については、小学校の併設園となっておりますので事実上不可能と考えます。

<地域住民>

将来的に小学校を無くした場合、売却はどうか。

<市>

その点については、何の議論もしていません。

<地域住民>

統廃合には財源面から売却の問題があり、何もないというのはおかしいのではないのでしょうか。

<市>

小学校の統廃合の話は進んでおりませんので、こども部の立場からは何もお答えできません。

<地域住民>

幼稚園児と保育所児の人数を相互に補うような話がありましたが、その際、幼稚園児と保育所児の指導はどうなるのでしょうか。

<市>

幼稚園児の教育時間である午前9時から午後2時の間は、短時間児と長時間児は一緒のクラスのなかで教育・保育を行います。

その前後の時間、朝7時～9時までと14時～19時までは、長時間児に対して、個々の状況に応じて保育を行うこととなります。

<地域住民>

秋津地区はコミュニティが非常にしっかりとっていて、地域とつながりが深いところなので、その良さを引き継いでもらいたいと思います。

香澄地区と秋津地区の方々が一緒になって子どもたちを見守り、あたたかい雰囲気のかども園となるようにしてほしいです。

子どものことを一番に、最重要課題として考えてもらいたいと思います。

<市>

平成30年度の1年間は非常に重要な1年であると考えております。

この1年は、秋津幼稚園と香澄幼稚園の良さを併せるため、保護者の皆様と一緒に、どういった施設にするかを考えていきたいと思っています。

地域の皆様とのつながりは、今後も断ち切らずに秋津幼稚園に遊びに行ったりしながら続けていきたいと考えています。

跡地利用につきましては、子どもたちが過ごしやすい場所として活用できればと思っています。

<地域住民>

先ほど、秋津地区では、ほぼほぼ理解が得られたと言っていました、何を根拠に言っているのでしょうか。

<市>

7月11日に開催した秋津地区の説明会では大きな反響がありました。

保護者を対象とした説明会を開催していく中で、幼児のための教育環境を整備することも園については全ての保護者ではありませんが、御理解をいただけたと思っています。

但し、香澄にこども園を整備するのであれば秋津にも整備してほしいという声もいただいております。そこにつきましては、市は、7つの中学校区に1つこども園を整備する考え方がありますので、その考え方は持ち合わせておりません。

<地域住民>

保護者の方はほぼ理解したと言っていますが、先日、秋津地域の説明会では全く逆だと思えます。いかがでしょうか。

<市>

先日の説明会では約 100 名の方に御出席いただきました。

100 名全員が意見をされたわけではありませんが、秋津幼稚園の跡をどのようにするのかなど、今後のことを期待する声もあったと思っております。

<地域住民>

話合いの継続を拒否したことは、どういう理由なのでしょう。

<市>

平成 29 年 5 月 23 日の秋津幼稚園の保護者説明会后、まちづくり会議や地域説明などでお話をさせていただき、2 つの施設を統合して、1 日も早く教育環境の整備を行うことで判断いたしました。

確かに、どちらの施設にこども園を整備するかにつきまして、秋津地域の皆様にはなかなか御理解が得られていないと思えます。一方では、市の考えていることを思ってくださいの方々も多くいらっしゃると思っております。

この件については、平成 29 年 9 月議会で香澄幼稚園を改修する設計費用を予算計上させていただいており、議会制民主主義のなかで市議会でも御議論いただいていることから、これ以上、地域の皆様と平行線の議論を続けていくのは避けたいと思っております。

また、今後につきましては、秋津幼稚園の跡地の活用について地域と幼稚園と保護者を交えて話し合いを行っていきたいと考えております。

<地域住民>

検討されている地域が秋津地域と香澄地域となっております。

第七中学校区の区域に谷津南地域は入らないのでしょうか。

<市>

第七中学校区の区域に谷津南地区は入ります。

今回は幼稚園単位で、秋津幼稚園、香澄幼稚園をどうするのか協議させていただいております。

谷津地区の方が香澄のこども園を選択されるのは問題ありませんが、選択肢として向山幼稚園や袖ヶ浦こども園もあり、今回の方針を説明させていただいております。

<地域住民>

大前提として1つの中学校区にこども園を整備するという方針であるのに、なぜ、資料のなかに、谷津南保育所の入園状況や推計人口に加えないのでしょうか。

<市>

袖ヶ浦こども園を整備する際は、袖ヶ浦東幼稚園が閉園となり、袖ヶ浦地区や鷺沼地区から香澄幼稚園に通園している現状があります。

資料の配置図を御覧いただければお分かりいただけるかと思いますが、地域の配置バランスを考えたときに、確かに香澄地区は市域の端ではありますが、何も無い地域に公立が手を差し伸べることで判断させていただきました。

<地域住民>

配置バランスは結構ですが、第七中学校区にこども園を整備すると言っているのに、なぜ、谷津南地域を入れないのでしょうか。谷津南地域も含めて検討したうえで配置バランスを考えるべきではないのでしょうか。検討漏れではないのでしょうか。

<市>

秋津幼稚園と香澄幼稚園の現状を考えたときに、一刻も早く教育環境の整備を行うこととしたもので検討漏れではありません。

<地域住民>

今後、跡地利用の窓口はどこになるのか。

<市>

現状、教育財産であるので、教育委員会の立場を併任しているこども部が中心となるのではないかと判断しております。

<市>

私たちは、子どもたちにとって適正な教育・保育環境を整備したいという一念で、この話をさせていただいております。全てを御理解いただくのは厳しいことは承知しております。

年少5名、年長8名という香澄幼稚園の状況、年少13名、年長19名の秋津幼稚園の状況のなかで、来年度は秋津幼稚園を選択する方が減少すると懸念しております。

こういった時間をかけることで保護者の皆様の選択がどうしたらいいのかと選択肢に迷いを生じてしまい、一番影響を受けるのが子どもたちであると考えております。

色々いただいた御意見については真摯に受け止めさせていただきます。



#### 4. 閉会

《問合せ》

習志野市こども政策課 電話番号 047-451-1151(内線:442・433)